

withコロナ時代における脳とこころ

新型コロナウイルス感染症がもたらすストレスや、社会的、身体的接触の低減が要求される自粛生活は、メンタルヘルスに悪影響を与え、今後も長期にわたる対応が必要で、新たな生活様式や価値観の創出を必要とすると考えられています。

こうした社会の転換と密接に関わる問題として、脳と心の科学について、今回は、京都工芸繊維大学より3名の講師をお迎えし、下記テーマでのご講演をお願いします。講演後には質疑応答の場も設けております。

つきましては、脳と心の科学に高い関心をお持ちの皆様へ、また京都工芸繊維大学との「産学連携」にご関心の高い貴社へ、ビジネスへのヒントとなりますようご案内申し上げます。

◆講演会

テーマ①『“波長が合う” 感覚を脳科学する』

講師：梶村 昇吾 京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 助教

講演概要：初対面の相手と会話をした際、やけに会話が弾んだり、居心地のよさを感じたりしたことはないでしょうか。そのような“波長が合う”感覚が、脳活動データを利用することで予測可能であること、およびその背景にある脳内メカニズムについて紹介します。

テーマ②『感覚・感性の数量化—色彩や表面情報の品質管理への活用—』

講師：北口 紗織 京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 准教授

講演概要：私たちは見ることで様々なことを感じ取ります。色彩を含むモノの表面の特徴には、人の感覚・感性を刺激する多くの情報が含まれています。本講演では、心理物理的方法を用いてモノの特性と感覚・感性を関連付け数量化することにより、目視判断で行われてきた品質管理の機器計測方法への活用などを紹介します。

テーマ③『表情認識による人物の感情推定』

講師：野宮 浩揮 京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 准教授

講演概要：人の心の状態は表情に表れると考えられることから、表情認識を通じた感情推定に取り組んでいます。本講演では、機械学習法を用いて、表情の種類や強さを判定することで感情推定を行う手法や、自然に表出した笑顔と作り笑いを識別する試みについて紹介します。

◆質疑応答

日時： 2020年12月22日（火） 13：30～15：30

方法： Webex によるオンライン配信

会場： 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパスからライブ配信

参加費： 無料